






小中一貫教育だより

# 「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて～

 目標をつなぐ  
 カリキュラムをつなぐ  
 子どもの心をつなぐ  
 教職員の意識をつなぐ  
 家庭・地域の絆をつなぐ  
「小中一貫教育！」



令和4年度 No.10(2023.1.12)  
担当：熊本市教育委員会事務局  
学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

## 幼保小中の連携も進められています。

来年度、小中一貫校となる楠中学校区で、  
「楠幼稚園の保育参観」が行われました。

10月31日（月）～11月4日（金）、来年度、小中一貫校となる楠中学校区（楠小、楡木小、楠中）では、楠幼稚園の保育参観が行われました。3歳児のひよこ組、4歳児のうさぎ組、5歳児のいるか組の登園の様子や「自ら取り組む遊び」、「クラス活動」の様子を、小学校や中学校の先生方が参観されました。参観された先生方にとって、新たな気づきとともに、自らの指導を振り返るよい機会となりました。

～ 参観された先生方の感想 ～

- 環境を整え、自主性を育てることの大切さを再認識し、日頃の指導を振り返る機会となりました。自分で何かを選択したり、アイデアを生み出したりする時間を設定しながら、今後の教育活動を進めていきたいと思いました。
- 一人一人の思いや自主性を尊重された教育を見習いたいと思いました。
- 子どもたちの思いを大切にされた場づくりや子どもたち自身が主体的に動くことができるよう先生方が関わっていらっしゃる姿は、小学校でも大切にしていきたいと感じました。
- 先生方が、子どもたちの個性や興味に合わせて保育をされていたのがとても心に残りました。学校だと、時間内に済ませないといけないことが多く、つい「早くしましょ」と言ってしまうのですが、先生方の関わりを見て、日頃の自分の関わり方を見直そうと思いました。
- このように寄り添う姿を、小学校にもつなげていきたいと思いました。
- 本日の参観を参考にして、小学校でも発達に応じて系統立てた指導を行ってきたいです。

今後、2月には、園児たちが中学校に行って、中学校のお兄さん、お姉さんたちと一緒に、じゃがいも植えの交流活動が行われるそうです。幼小中連携が計画的に進められています。

### 【コラム：保幼小連携で小中一貫教育の基盤を強化する】

義務教育修了段階の子供たちの状況を見通しながら、関係者が連携して教育活動を高度化させていくという観点からは、**小中一貫教育と併せて、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を進めていくことも重要**と言えます。

特に小中一貫教育に取り組む学校の校区においては、中学校区全体の子供たちの課題を各年齢別に整理し、共有した上で、幼稚園等と小学校それぞれが歩み寄りながら、幼稚園等のカリキュラムと小学校1年生でのスタートカリキュラムを一体的に整備することが期待されます。

[小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引 \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp) 【p.63】より

Ctrl+クリックを！